

2021年10月26日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

**放射線の検知・計測ができる屋内点検用ドローン
「ELIOS 2 RAD」の販売を10月26日(原子力の日)より開始
～原子力施設の通常時・緊急時の点検に即応。データ利活用による予兆保全・DX化の推進も～**

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション)は、放射線センサーを搭載し、飛行経路中の放射線の検知・計測ならびに漏洩位置の特定ができる屋内点検用球体ドローン「ELIOS 2 RAD」(エリオス・ツー・ラド)の販売を、10月26日(原子力の日[※])より開始します。



ELIOS 2 RAD 外観(左)と、搭載されている放射線センサー(右)

ELIOS 2 RAD は、原子力発電所の施設内点検に特化させた球体ドローンで、プラントや工場などの屋内点検において定評のある「ELIOS 2」をベースに開発されました。搭載された放射線センサーにより放射線の検知・計測ができるほか、飛行経路を3D点群マップで可視化することで放射線の漏洩箇所を正確に把握でき、さらにドローンによる撮影動画や画像により現場の状態をリアルタイムに把握することができます。

原子力発電所では、施設の通常点検時や、万が一の緊急時に放射線漏洩の確認や、漏洩が疑われる際にはその位置を把握し、線量を正確に計測する必要があります。従来は、点検員が放射線検出器を手に現場に立ち入り計測するため、被ばくが避けられず安全性に課題がありました。

また、事故などの緊急時には点検員も施設内に入れないため、自走式ロボットによる放射線の検知・計測が試みられますが、自走式ロボットでは縦方向の移動ができない上に、施設内部が瓦解している場合は移動が制限され、点検できる範囲に限界があるという課題があります。

これに対し、ELIOS 2 RAD は極小空間を含め施設の空中を自在に移動できるため、管理区域外や保安区域外などから操作し放射線を検知・計測することができます。また、放射線の漏洩位置と線量を正確に把握することで、速やかな補修計画の策定・実行が可能になり、点検員の負担軽減と安全確保にも寄与します。

ブルーイノベーションはこれまで、多くのプラントや工場で ELIOS シリーズを活用した柔軟な点検体制を構築し、点検に係る危険作業や膨大なコスト、労働力不足などの課題を解決してきました。今回、飛行しながら放射線が計測できる ELIOS 2 RAD のリリースにより、原子力施設においても点検プロセスの効率化、緊急時点検に即応する点検体制の構築、点検員の安全確保、さらにはデータ利活用による予兆保全や DX 化の推進に貢献していきます。

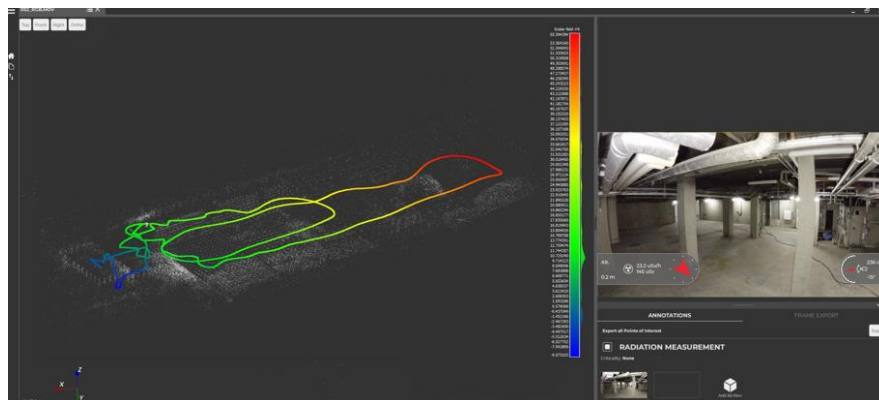
ELIOS 2 RAD の開発元である Flyability 社は、2011 年 3 月 11 日に福島で起きた原子力発電所の事故をきっかけに設立されました。当時、限られた手段で何とか状況を收拾しようと懸命に努力している方々を目の当たりにし、瓦解した施設内部を点検するためには、もっと安全で、もっと効果的な方法が必要だとの思いから開発されたのが ELIOS シリーズです。

そして、今回の ELIOS 2 RAD により、その思いが現実のものとなりました。ELIOS 2 RAD により原子力発電所に携わっていらっしゃる方々の安全が確保され、緊急時に即応した点検フローの確立に貢献したいと考えています。

ブルーイノベーション 代表取締役社長 熊田 貴之

※原子力の日

1956 年(昭和 31 年)に日本が国際原子力機関への加盟を決めた日であるとともに、1963 年(昭和 38 年)、日本原子力研究所(現、日本原子力研究開発機構)が日本で初めて原子力による発電に成功した日であることから、原子力の日とされた。



専用アプリ「Inspector 3.0」により放射線データの位置特定とマッピングが可能



飛行中の線量と空間線量示度、累積線量などをリアルタイムに表示



チェルノブイリ原発事故の現場で実施された ELIOS の飛行テスト風景(2020 年撮影)

<https://www.youtube.com/watch?v=yyZZSyCmBqY>

■ELIOS 2 について

ELIOS 2 は Flyability 社(スイス)が開発した、非 GNSS 環境下の屋内空間などの飛行特性に優れたドローンです。球体状のガードを備え、配管やボイラー、煙突といった人が入れない目視外の狭小空間や危険な場所の点検に適しています。ブルーイノベーションは 2018 年に日本における独占販売契約を Flyability 社と締結し、ELIOS シリーズを使用した点検ソリューションの提供を提供。プラントや発電所、下水道などを中心に 150 ヶ所を超える屋内施設でのドローン点検の導入実績を有しています。

【詳細はこちらをご覧ください><https://www.blue-i.co.jp/bi-Inspector-elios2/>】

■ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区)

1999 年 6 月設立。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである Blue Earth Platform(BEP)を軸に、以下ソリューションを開発・提供しています。<http://www.blue-i.co.jp/>

- ・プラント・工場・公共インフラ DX ソリューション(スマート点検、3D モデル化など)
- ・通信インフラ・フィールドメンテナンスソリューション(送電線・携帯基地局点検、森林測量など)
- ・流通・物流 DX ソリューション(倉庫内在庫管理、物流など)
- ・スマートオフィスソリューション(警備・防犯、監視など)
- ・人材育成・トレーニングソリューション(社内人材育成、子ども向けプログラミング、JUIDA ライセンス教育など)

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 PR マーケティング部

TEL:03-6801-8781 E-mail:press@blue-i.co.jp